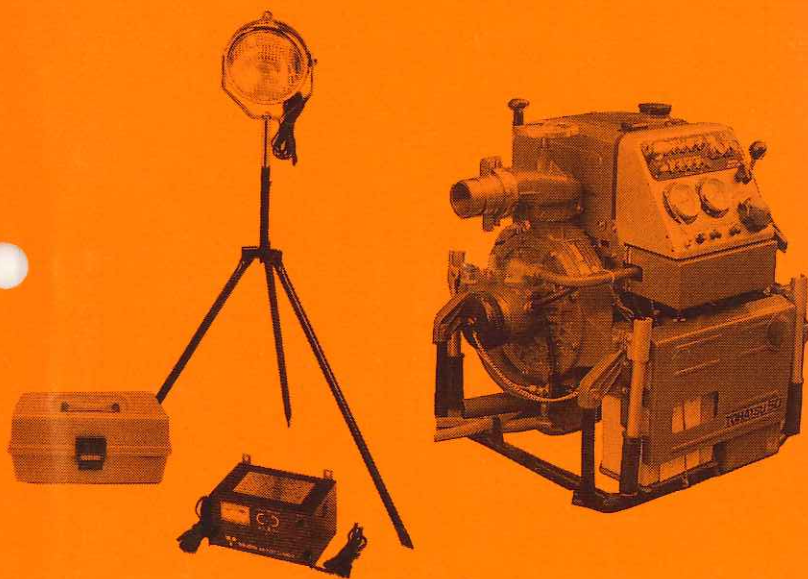


全自動
小型消防ポンプ

取扱説明書

V75CA形 V60AA形

V50CA形 V38BA形



003-14001-3

目 次

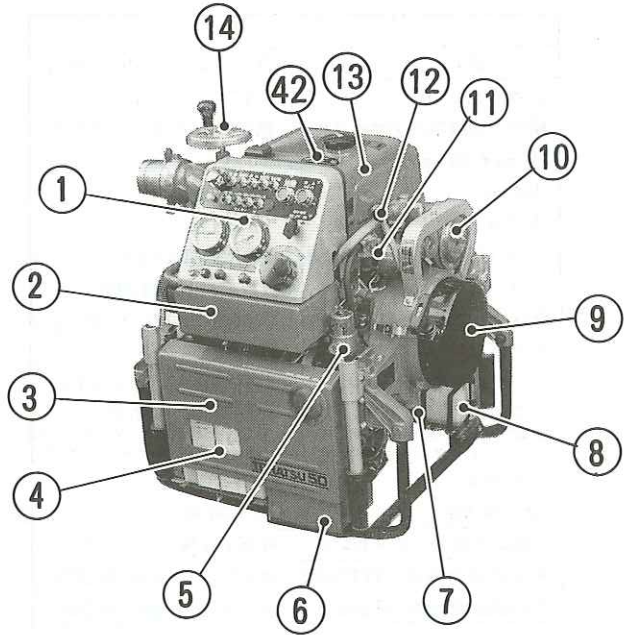
主要諸元	1
主要部品名称	3
製品到着時の注意	6
操作盤の使い方	7
1. 表示ランプ・モニターランプ	7
2. 操作電源切換スイッチ	9
3. ランプチェックスイッチ	9
取扱い要領	10
1. 消防ポンプを運転する前の注意	10
2. 運 転	13
◦ 始動・吸水・放水	13
◦ 停 止	14
◦ 始動不能のとき?	15
◦ 吸水不能のとき?	15
3. 手動運転の方法	16
4. 運転時の注意	19
5. 運転後の注意	20
6. ポンプ燃料の取扱	20
7. 寒冷時の注意	21
8. 属品取扱上の注意	22
9. 点検整備	26
定期点検	27
不調原因早見表	28
付属品の内容	31

主 要 諸 元

総合呼称		V 75 CA	V 60 A A	
級別 (届出番号)		B-2級 (P 1042003)	B-2級 (P 1041003)	
エンジン 関係	呼称	2 WT 78 FA 形	2 WT 68 C A 形	
	形式	横形2気筒水冷2サイクル	横形2気筒水冷2サイクル	
	内径 × 行程 × 気筒	78 mm × 78 mm × 2	68 mm × 68 mm × 2	
	総排気量	746 cc	494 cc	
	最高出力	55 PS	43 PS	
	検定出力	44.2 PS (32.5 kW)	32.6 PS (24.0 kW)	
	タンク容量・消費量	18 ℓ・19.3 ℓ/Hr	11 ℓ・12 ℓ/Hr	
	点火方式	無接点マグネット (C. D. Ig)	無接点マグネット (C. D. Ig)	
	潤滑方式	混合式 (ガソリン30:オイル1)	混合式 (ガソリン30:オイル1)	
	始動方式	自動始動, 吸水式 手動(セルスターター・リコイルスターター, ロープ式)	自動始動, 吸水式 手動(セルスターター・リコイルスターター, ロープ式)	
投光器	12 V 35 W	12 V 35 W		
蓄電池容量	12 V 24 Ah	12 V 24 Ah		
ポンプ 関係	形式		片吸込1段タービンポンプ	
	口径	吸水側	ネジ式結合金具(呼び75)	
		吐出側	差込式結合金具(呼び65)	
	ノズル口径	定格高圧	29.0 mm	26.5 mm
	ポンプ回転数	定格高圧	23.0 mm	19.0 mm
		高圧	4,150 R. P. M.	4,500 R. P. M.
	水量 水圧	高圧	4,550 R. P. M.	4,900 R. P. M.
		高圧	1.45 m ³ /min / 7.0 kg/cm ²	1.20 m ³ /min / 7.0 kg/cm ²
	真空性能	高圧	1.10 m ³ /min / 10.0 kg/cm ²	0.74 m ³ /min / 10.0 kg/cm ²
		高圧	吸上高約 9 m (64cmHg以上)	吸上高約 9 m (64cmHg以上)
総合	全長 × 全巾 × 全高	約 793 × 663 × 724 mm	約 667 × 605 × 724 mm	
	重量	約 100 kg	約 93 kg	

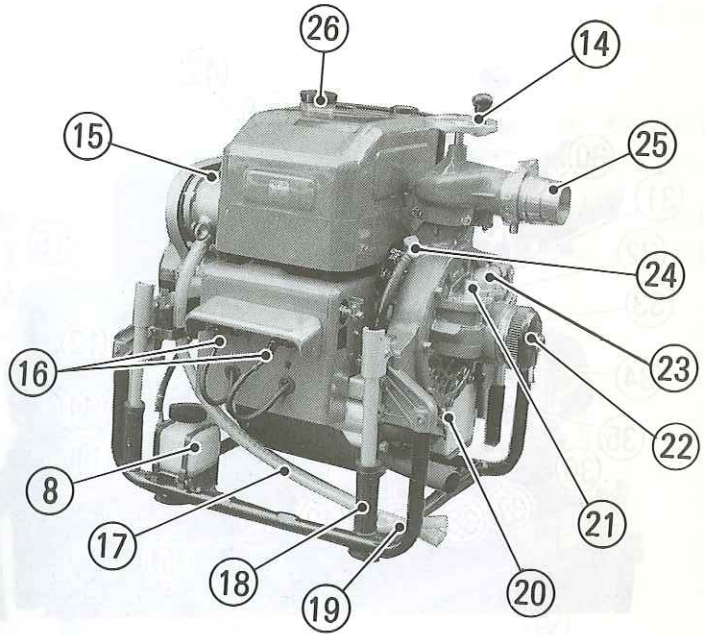
V50C A	V38B A
B-3級(P1053003)	B-3級(P1052003)
2WT68CA形 横形2気筒水冷2サイクル 68mm×68mm×2 494cc 40PS 32.6PS(24.0kW) 11ℓ・11ℓ/Hr 無接点マグネット(C.D.Ig) 混合式 (ガソリン30:オイル1) 自動始動, 吸水式 手動(セルスターター・リコ イルスターター, ロープ式) 12V35W 12V24Ah	2WT65EA形 横形2気筒水冷2サイクル 65mm×58mm×2 385cc 33PS 27PS(19.9kW) 11ℓ・10.3ℓ/Hr 無接点マグネット(C.D.Ig) 混合式 (ガソリン30:オイル1) 自動始動, 吸水式 手動(セルスターター・リコ イルスターター・ロープ式) 12V35W 12V24Ah
片吸込1段タービンポンプ	片吸込1段タービンポンプ
ネジ式結合金具(呼び75) 差込式結合金具(呼び65)	ネジ式結合金具(呼び75) 差込式結合金具(呼び65)
28.0mm 23.0mm	26.0mm 20.0mm
4,400R.P.M. 4,650R.P.M.	4,300R.P.M. 4,580R.P.M.
1.20m ³ /min/5.5kg/cm ² 0.98m ³ /min/8.0kg/cm ²	1.04m ³ /min/5.5kg/cm ² 0.74m ³ /min/8.0kg/cm ²
吸上高約9m (64cmHg以上)	吸上高約9m (64cmHg以上)
約667×605×724mm 約93kg	約680×581×724mm 約89kg

主要部品名称 (1)



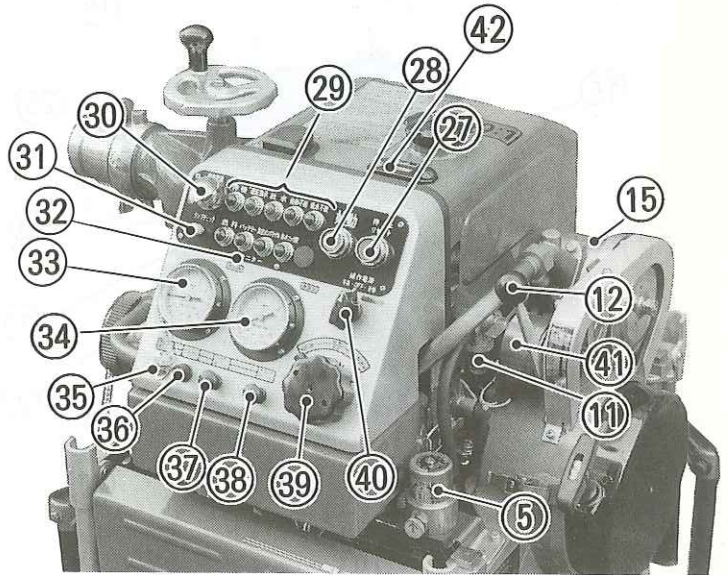
- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 操作盤 | 8. 真空ポンプ油壺 |
| 2. 気化器側カバー | 9. リコイルスタータ |
| 3. バッテリー側カバー | 10. 真空ポンプVプリー |
| 4. バッテリー | 11. 燃料コック |
| 5. 燃料電磁弁 | 12. 真空ポンプハンドル |
| 6. コントロールボックス | 13. 燃料タンク |
| 7. 消音器 | 14. フラットバルブハンドル |

主要部品名称 (2)



- | | |
|----------------|---------------|
| 15. 真空ポンプ | 21. 止水弁キャップ |
| 16. 点火プラグ | 22. 吸水口キャップ |
| 17. 真空ポンプ排水パイプ | 23. 真空ポンプ逆止水弁 |
| 18. 運搬ハンドル | 24. 冷却水自動弁 |
| 19. 冷却水排水パイプ | 25. 吐水口根本接手 |
| 20. ポンプ本体排水コック | 26. 燃料タンクキャップ |

主要部品名称(3)



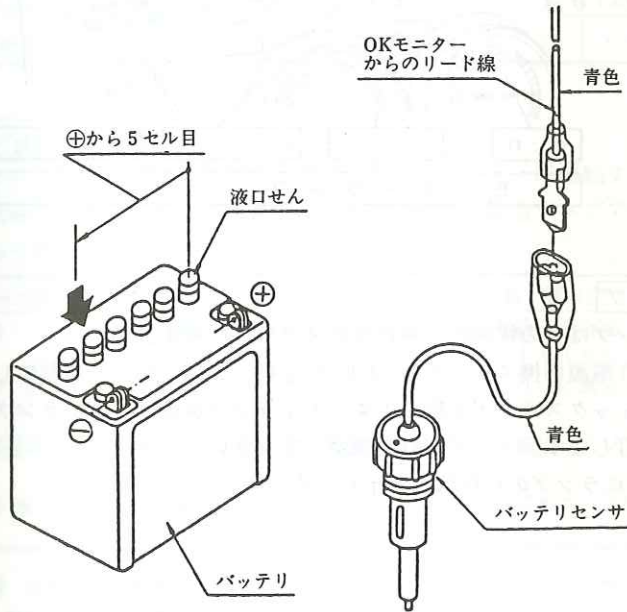
- | | |
|-----------------|---------------------|
| 27. 停止・リセットボタン | 35. 充電・投光器コンセント |
| 28. 始動ボタン | 36. ヒューズ |
| 29. 操作表示ランプ | 37. テイクラーノブ |
| 30. 操作電源ランプ | 38. チョークノブ |
| 31. ランプチェックスイッチ | 39. 調速ダイヤル |
| 32. モニターランプ | 40. 操作切換スイッチ |
| 33. 真空連成計 | 41. 真空ポンプロータリーソレノイド |
| 34. 圧力連成計 | 42. 油量計 |

製品到着時の注意

OKモニターを取付けてあります消防ポンプの場合、次の点が異なっておりますのでご注意ください。

- ◎バッテリーは附属のバッテリー液を注入後充電いたしますが、その時OKモニターのバッテリー比重・液位警告灯のセンサーを取付けて下さい。

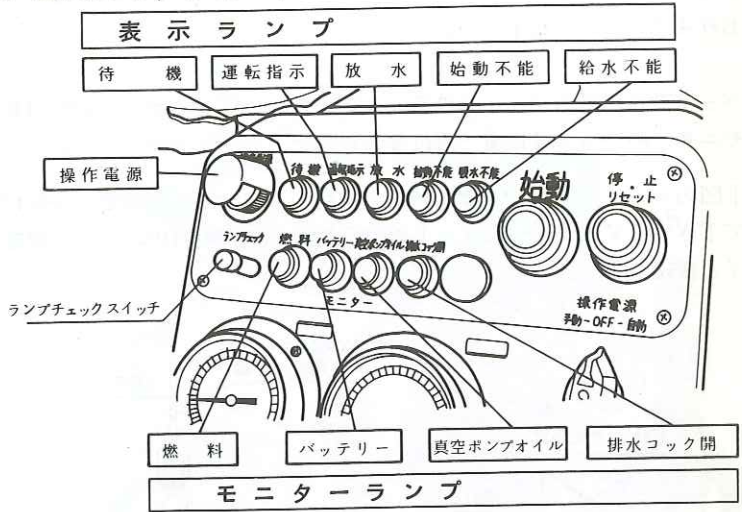
下図のようにバッテリー⊕極側から5番目の液口せんにセンサーを取付けて下さい。又センサーのリード線はOKモニターの青色のリード線雄端子と接続します。



バッテリーセンサー取付要領図

操作盤の使い方

1. 表示ランプ, モニターランプ



表示ランプ

表示ランプは次の状態のときに点灯又は消灯します。

尚、操作電源切換スイッチをOFF→手動、又はOFF→自動にし、ランプチェックスイッチを押しますと表示ランプ及びモニターランプの全てが点灯します。ランプ切れを確認して下さい。

(次ページにランプの点灯状況を示します。)

[☀…点灯, ○…消灯]

項 目	操作電源	待機	運転指示	放水	始動不能	吸水不能
(自動運転)						
操作電源切換スイッチ「自動」	☀	☀	○	○	○	○
始動ボタンを押し、エンジン始動	☀	○	☀	○	○	○
吸水完了及び放水	☀	○	☀	☀	○	○
エンジン始動できず(1)	☀	○	☀	○	☀	○
始動したが吸水できず(2) (エンジン自動停止)	☀	○	☀	○	○	☀
(1), (2)のとき停止・リセットボタンを押す	☀	☀	○	○	○	○
(手動運転)						
操作電源切換スイッチ「手動」	☀	○	○	○	○	○
エンジン始動・吸水開始	☀	○	○	○	○	○
吸水完了及び放水	☀	○	○	○	○	○

モニターランプ

モニターランプはポンプを安全でしかもスピーディに運転するために、運転前の点検に、あるいは運転中に各部の状態を警告ランプで警告するものです。

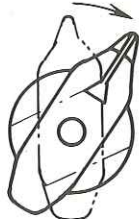
モニターランプ	☀点灯している	処 置 (消灯)
燃 料	燃料の残りがタンクの1/3になった。	燃料補給 (混合油, ガソリン30:1オイル)。
バ ッ テ リ ー	バッテリー液が最低液面線以下である。	バッテリーに蒸留水を補給。
真空ポンプオイル	油ツボのオイルの残りが1/3になった。	オイル補給 (エンジンオイル)。
排 水 コ ッ ク 開	運転前にポンプ排水コックが開いている。	ポンプ排水コックを閉める。

(注) 定期点検, 始動前点検などのとき, モニターランプだけで点検をすませないで, 各部を直接点検しましょう。

2. 操作電源切換スイッチ

OFF……全ての電源が切れている。

操作電源
手動-OFF-自動



(遠隔操作)

自動……OFF位置からツマミを右に廻せば自動になり、操作電源ランプが点灯して自動運転が開始できる状態になります。又、モニターランプも作動して点検ができます。

操作電源
手動-OFF-自動



手動……OFF位置から左に廻せば手動になり操作電源ランプが点灯して、エンジン始動及び吸水が手動で操作できる状態になります。

手動運転による始動は、スタータモータ、リコイルスタータ、ロープスタートの三方式が可能です。

モニターランプも作動して点検ができます。

3. ランプチェックスイッチ

操作盤にある表示ランプ及びモニターランプの球切れを確認するために、操作電源切換スイッチを自動・手動に入れてスイッチを押せば全てのランプが点灯します。点灯しないときはそのランプは切れています。交換して下さい。

取扱要領

1. 消防ポンプを運転する前の注意

表示ランプ点灯(☀), 消灯(○)説明図

操作電源	待機	運転指示	放水	始動不能	吸水不能
------	----	------	----	------	------

- (1) 操作電源切換スイッチを
「自動」に入れる。----- ☀ ☀ ○ ○ ○ ○

- (2) ランプスイッチを押す。
同時にモニターランプ
も全て点灯する。----- ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀

- (3) モニターランプで点検

☀ **燃料** モニターランプが点灯しているときは、燃料タンク残量が約1/3以下になっています。燃料を補給して下さい。

- 燃料ゲージを見て十分入れておきましょう。
- 混合用のオイルは2サイクル専用オイルを使用します。
トーハツ純正オイルなら万全です。
- 時々燃料コックのカップを外し掃除しましょう。
- 混合比
ガソリン 30 : オイル 1



☀ **バッテリー** モニターランプが点灯しているときは、バッテリー液が最低液面線以下になっています。バッテリー容量が不足していま

すので、バッテリーに蒸留水を最高液面線まで注入後補充電をして下さい。

くわしくは後記の項 (21ページ) を参照して下さい。

☀ **真空ポンプオイル** モニターランプが点灯しているときはオイル残量が約 1/3 以下になっています。オイルを補給して下さい。

- オイルは口元一杯に入れておきましょう。
- 平常 SAE 30~40 番, 冬期は SAE 20 番です。

☀ **排水コック開** モニターランプが点灯しているときはコックが開いています。コックを閉めますとランプは消灯します。

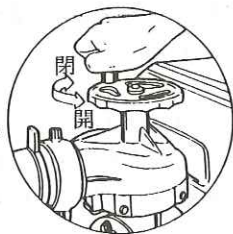
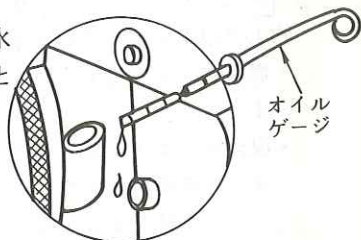
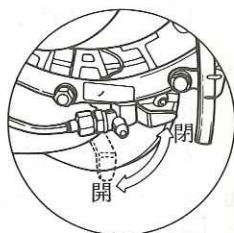
排水コックが開いていますと吸水できません。必ず排水コックを閉として下さい。

(4) ガバナール室のオイルは規定量入っているか。

- オイルはオイルゲージにより確認して下さい。
- オイルはモーターオイルを使用します。

(5) コック類の閉め忘れはないか。

- フラットバルブ



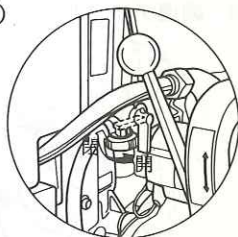
・ シリンダヘッド空気コック

(排水時以外は閉)



(6) 燃料コックのレバーを下げて開く。

(点検修理時以外は開)



(7) 燃料電磁弁

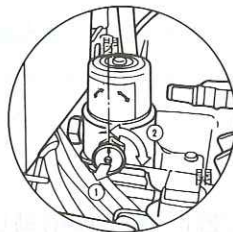
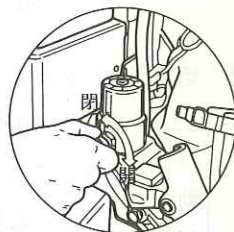
手元の燃料電磁弁は閉とします。

(運転時、電磁弁は自動的に開きます)

ツマミを手前に引いて①矢印を上側

側に②します。

(自動運転時は常時閉)



2. 運 転

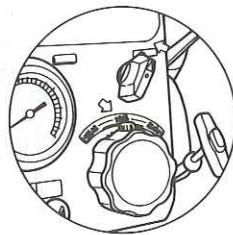
表示ランプ点灯(●),
消灯(○)説明図

始動・吸水・放水

操作電源	待機	運転指示	放水	始動不能	吸水不能
------	----	------	----	------	------

<ul style="list-style-type: none"> ○ 操作電源切換スイッチを「自動」に入れる ○ 電磁弁開 	●	●	○	○	○	○
	●	●	○	○	○	○

(1) 調速ダイヤルのノブを押し「始動」の位置にする。



(2) 始動ボタンを押す ----- ● ○ ● ○ ○ ○

○ ティクラ作動 ----- ● ○ ● ○ ○ ○

○ チョーク・スタータモータ作動 ----- ● ○ ● ○ ○ ○

○ エンジン始動 ----- ● ○ ● ○ ○ ○

○ 吸水開始 ----- ● ○ ● ○ ○ ○

○ 吸水完了 ----- ● ○ ● ○ ○ ○



吸水が完了しますと真空計、圧力計が作動します。

表示ランプ点灯(●),
消灯(○)説明図

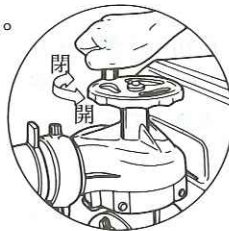
操作電源	待機	運転指示	放水	始動不能	吸水不能
------	----	------	----	------	------

放水

(3) フラットバルブを初めは徐々に開

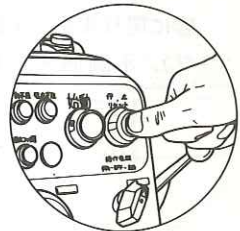
いて次いで全開にして放水を開始。----- ● ○ ● ● ○ ○

圧力・放水量の調節は調速ダイヤルで行います。



停止

- 手 ↓
- 調速ダイヤルを「低速」の位置にする。----- ● ○ ● ● ○ ○
 - フラットバルブ閉める。----- ● ○ ● ● ○ ○
 - 「停止リセット」ボタンを押す。-- ● ● ○ ○ ○ ○
 - 操作電源切換スイッチをOFFとする。--- ○ ○ ○ ○ ○ ○
- 動 ↓



表示ランプ点灯(●),
消灯(○)説明図

操作電源	待機	運転指示	放水	始動不能	吸水不能
------	----	------	----	------	------

始動不能のとき？

- 手
↓
動
- 始動不能 ----- ● ○ ● ○ ● ○
 - 調速ダイヤルを「低速」の位置にする。 -- ● ○ ● ○ ● ○
 - 停止リセットボタンを押す。 ---- ● ● ○ ○ ○ ○
 - 操作電源切換スイッチをOFF ___ ○ ○ ○ ○ ○ ○

表示ランプは全て消えて、最初の状態に戻ります。不調箇所を調べて下さい。(不調原因早見表, 27ページ参照) 不調箇所を整備の上で最初から再度運転を実施して下さい。

吸水不能のとき？

- 手
↓
動
- 吸水不能(エンジン自動停止) --- ● ○ ● ○ ○ ●
 - 調速ダイヤルを低速の位置にする。 -- ● ○ ● ○ ○ ●
 - 停止リセットボタンを押す。 ---- ● ● ○ ○ ○ ○
 - 操作電源切換スイッチをOFF ___ ○ ○ ○ ○ ○ ○

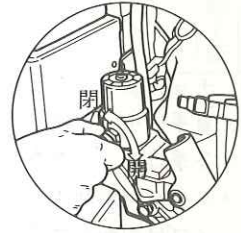
前項の始動不能と同様に、表示ランプは全て消えて、最初の状態に戻ります。不調箇所を調べて下さい(不調原因早見表 28ページ), 不調箇所を整備の上で最初から再度運転を実施して下さい。

3. 手動運転の方法

万が一自動運転ができなくなった時は、手動で運転して下さい。セルスタート、リコイルスタート、ロープスタートが可能です。

尚、運転する前の注意は自動運転のときと同様に実施して下さい。

但し、燃料電磁弁はツマミの矢印を水平(→)にして開とします。



表示ランプ点灯(☼), 消灯(○)説明図

操作電源	待機	運転指示	放水	始動不能	吸水不能
------	----	------	----	------	------

- (1) 操作電源切換スイッチを「手動」にする
- (2) 調速ダイヤルを「始動」の位置にする。



- (3) ティクラーノブを引き燃料のオーバーフローを確認する。
注) 再始動時は必要ありません。



表示ランプ点灯(☀),
消灯(○)説明図

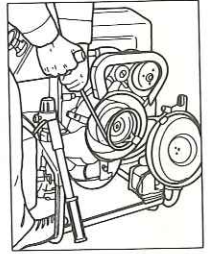
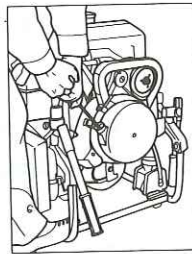
操作電源	待機	運転指示	放水	始動不能	吸水不能
------	----	------	----	------	------

- (4) チョークノブを引き空気弁を閉じる。
- 夏季はチョークは半開程度引く。
 - 冬季はチョークを一杯に引く。
 - エンジンが暖まっている時チョークノブは引かないで下さい。

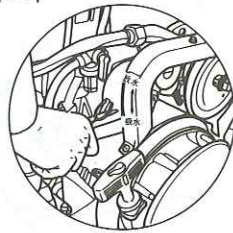


- (5) 始動ボタンを押す。 ----- ☀ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
始動したら直ちに離し、チョークノブを徐々にもどす。

又は、緊急時にはリコイルスタータを強く引く。万一リコイルスタータが故障のときは、リコイルスタータを開いて、プーリにロープを巻いてエンジンを起動します。



- (6) 吸水及び放水
- 始動したら真空ポンプハンドルを「吸水」側に下げる。



表示ランプ点灯(☀),
消灯(○)説明図

操作電源	待機	運転指示	放水	始動不能	吸水不能
------	----	------	----	------	------

- (圧力計の指針)
プラス側に作動
- 吸水が完了する。-----☀ ○ ○ ○ ○ ○
- 真空ポンプハンドルを速やかに「放水」側に戻す。
- (7) フラットバルブハンドルを開いて放水を開始する。-----☀ ○ ○ ○ ○ ○
- (8) 調速ダイヤルノブを押し除々に高速にする。-----☀ ○ ○ ○ ○ ○
- (9) 停止
- 調速ダイヤルを「低速」の位置にする。--☀ ○ ○ ○ ○ ○
 - 燃料電磁弁を「閉」にする。-----☀ ○ ○ ○ ○ ○
 - フラットバルブハンドルを閉める。---☀ ○ ○ ○ ○ ○
 - 「停止・リセット」ボタンをエンジンが停止するまで押す。--☀ ○ ○ ○ ○ ○
 - 操作電源切換スイッチをOFFとする。--○ ○ ○ ○ ○ ○
 - 停止したらポンプ排水コック及びシリンダヘッド空気コックを開き水を完全に排水する。
排水を確認したら開いたコックは必ず閉めておく。

4. 運転時の注意

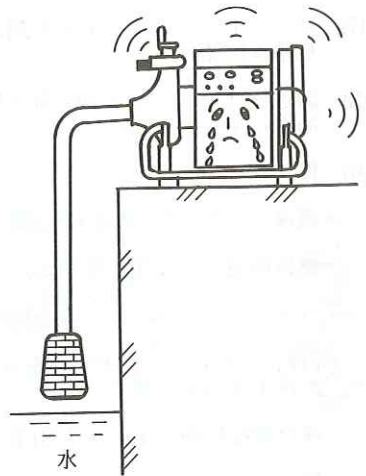
- (1) 始動ボタンは自動的にスタータモータを作動させますが手動運転のときは次の様に注意して下さい。

始動ボタンは3秒間押し続けたら5秒間小休止を取って下さい。連続で使いますとバッテリーが早く駄目になります。



- (2) 冷却水パイプより勢いよく水が出ていることを確認して下さい。冷却水なしでの運転は「低速」で2分間以内にとどめて下さい。

- (3) 真空ポンプの使用時間は30秒以内にとどめて下さい。水源までの距離がある場合真空ポンプの切換時間に注意しましょう。落水の危険があります。



- (4) 放水中は水面に注意し泥水を使用するときは、藤籠の下に更に蓆をしいて下さい。

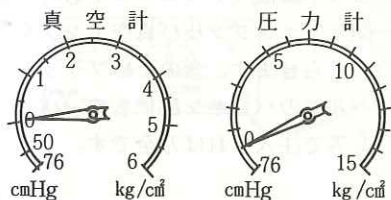
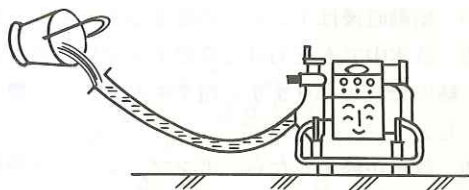
- (5) 调速装置は濫りにいじらないで下さい。

5. 運転後の注意

(1) 海水を使用したときは、フラットバルブを閉じ、吸水管の先端より真水を入れて運転して下さい。内部の洗浄ができます。

(2) 使用後完全に排水を確認の上、コック類及び吸水口蓋を閉じ、空運転し真空操作で真空確認の上真空ポンプハンドルを元に戻し、ゲージの指針を“0”位置にして格納します。

(3) バッテリーを充電して下さい。
充電器の取扱については、21ページ参照下さい。

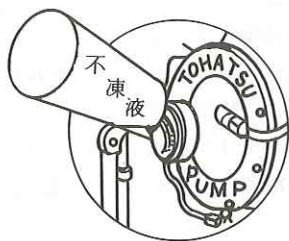


6. ポンプ燃料の取扱

- (1) ガソリンは無鉛ガソリンが良いですが良質のものを使用して下さい。
- (2) オイルはトーハツ純正オイルをおすすめします。(混合比30:1)
- (3) ガソリンとオイルは十分攪拌して混合して下さい。
- (4) 毎月1回は燃料を点検し、万一刺戟性の臭いがしたり、濁っている場合は直ちに新しい燃料と交換して下さい。

7. 寒冷時の注意

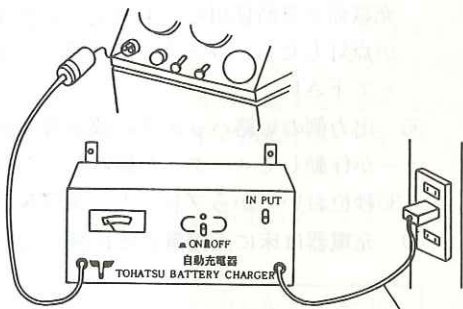
- (1) 始動直後はエンジンの暖まるまでチョークを加減して開きます。
- (2) 放水中でも圧力計、真空ポンプ周り等、水の流れがない場合、凍結の恐れがあります。箱やキャンバスで覆をして防止するとよいでしょう。
- (3) 放水が終了したら、ポンプ、シリンダの排水を完全にし、吸水口より不凍液（アルコールでも可）を約500cc注入し吸水口をぴたり閉じ、エンジン及び真空ポンプを作動させ、確実に各主要部に行きわたらせます。念のためフラットバルブのパッキン部にもラップカバン等で注入すれば万全です。



8. 属品取扱上の心得

(1) 充電器(自動充電器)

ポンプ本機に設置してありますバッテリーは12V用です。バッテリーの充電方法は次の手順で実施して下さい。尚、新しいバッテリーの初充電についてはバッテリーに付いている説明書に従って充電して下さい。



- ① バッテリーの液量，端子の汚れ，端子のゆるみのないことを確認して下さい。
- ② 操作盤の充電器用コンセントに充電用プラグを差込んで下さい。
- ③ 充電器の入力プラグを交流100Vの電灯電源に差込んで下さい。入力表示灯(IN PUT)が点灯します。
- ④ 充電が開始されて，バッテリーの充電量にみあった位置をメータが表示します。
赤色：充電が必要
黄色：少し充電が必要
緑色：満充電になり補償充電中

- ⑤ 充電器は自動充電器ですので、バッテリーが満充電となりますと、自動的に補償充電状態となり充電電流が微弱となりますので充電器を常時使用しても差支えありません。もしモニターランプが点灯したらバッテリー液の減少ですから（蒸留水）の補充を行って下さい。
- ⑥ 出力側の短絡バッテリーの故障等で過電流が流れると、ブレーカーが作動してメーターが振れなくなります。異常を点検して、約30秒位おいてからブレーカーをONとして下さい。
- ⑦ 充電器は床に直接置かずに適当な不燃性の台上に設置して下さい。

- (注) 1. 充電中に火災等の緊急事態により出動する場合は充電器の取外しを必ず行って下さい。
2. 自動車用のバッテリーは当充電器では充電できません。

(2) 布ホース

布ホースを格納するときは十分に乾燥させる。乾燥不十分とか泥が附着したまま収納すると破損し易く寿命を短くします。

放水に際して布ホースを延長するときは、よじらないように、また屈曲部は急に折り曲げないで、緩い弧を画くようにして下さい。

地面を引きずると破損し易いから位置を移動する場合には、できるだけ地面から離して運搬するよう気をつけて下さい。

(3) 吸水管

使用に際しては水平に保持し、角度を合せて接続する。ゆがんだ角度で締付ると締付金具のネジ山を崩し、空気もれして、真空ポンプの機能を妨げる。またゴムパッキンが浮き上がっていると空気もれます。ゴムパッキンはガソリン、オイル等が付着すると弱くなり、パッキンの役目を果たすることができなくなりますから注意して下さい。

(4) ノズル

ポンプ効率を最高度に発揮するためには、所定のノズルを使用して下さい。

形 式		V 75 CA	V 60 AA	V 50 CA	V 38 BA
口径mm	定格	29.0	26.5	28.0	26.0
	高圧	23.0	19.0	23.0	20.0

(5) ストレーナー及び藤籠

脱落しないようしっかり結びとめて下さい。

(6) 回転式フラットバルブ

フラットバルブを回転させるには、バルブが固くしまっていたり、放水をしている状態では、摺動部の摩擦抵抗のため回転しにくくなります。放水前にバルブを少し弛るめた状態で廻して下さい。

(7) 自動巻込スタータ

ハンドルの引張り方向を変えるには、スタータ蝶ナットを弛め、スタータケースを任意の角度（360°回転）におき、再び蝶ナットを締めます。これに依り、どの角度からも自動巻込スタータを使用することができます。〔V75CA、V60AA、V50CA〕

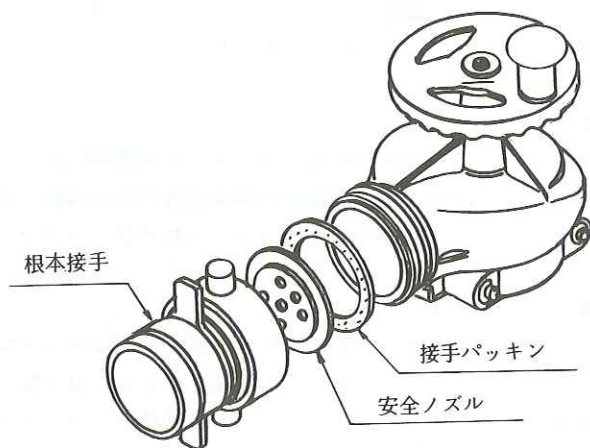
(8) 揚水用安全ノズル

消防ポンプを揚水ポンプとして使用する場合には、必ず揚水用安全ノズルを使用して下さい。

消防ポンプを揚水ポンプに使用する際筒先ノズルを外したまま放水しますと、過負荷となりエンジンを焼付かせることがしばしばあります。

揚水用安全ノズルはこれの防止方法として、ポンプの根本接手にポンプ各形式に適合したノズルを挿入し、安全運転を可能としたものです。

揚水ポンプとして使用する場合、根本接手とパッキンの間に安全ノズルを入れて吐出口に装置し、ホースを接げば、エンジンは普通の操作で行なって差支えなく、又ホースの先端に筒先ノズルをつける必要はありません。(図参照)



9. 点検整備

- (1) 保管場所は湿気のあるところは避け、なるべく水平に置いて下さい。

湿気が多いとマグネトの性能が低下し、バッテリーは自己放電して始動困難となることもあります。

- (2) 油やゴミをよくふきとって、いつもきれいにしておいて下さい。
- (3) 燃料は燃料タンクに常時満しておいて下さい。
- (4) 調速機室と真空ポンプのエンジンオイルは補充して常時適量にしておいて下さい。
- (5) 少なくとも1ヶ月に1回は運転放水して異常の有無を点検し整備して下さい。
- (6) 月に1回は補充電を行うと共にバッテリーの液面を点検し整備して下さい。

10. 定期点検

下記項目に従って、必ず点検を実施して下さい。

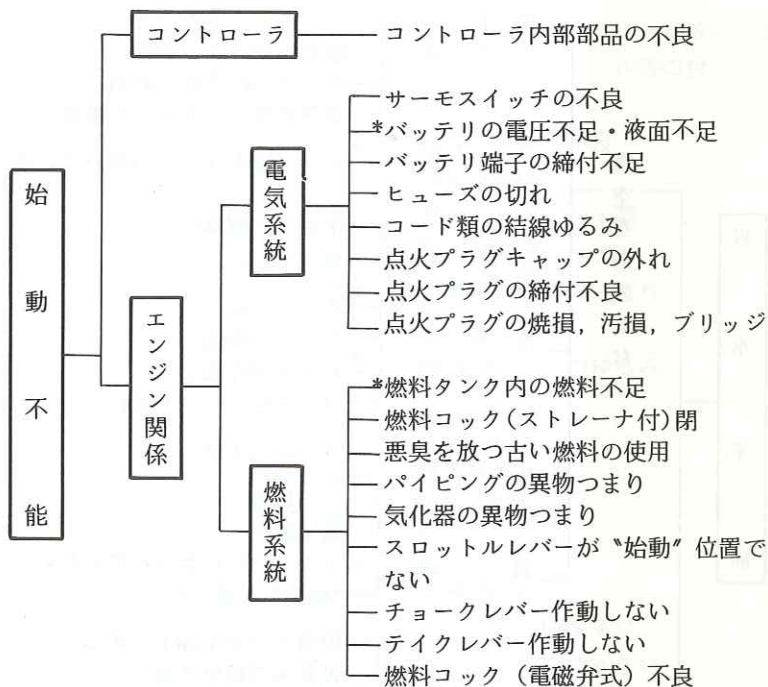
点検箇所	運転時間 もしくは期間	備考	点検内容	処置
燃料 真空ポンプオイル ランプ類 ガバナ室オイル	使用後毎 使用後毎 使用後毎 50時間毎	3ヶ月毎	タンク内燃料 油ツボ内オイル 点灯 検油棒にて点検	補給 補給 交換 必要により交換
バッテリー		1ヶ月毎	液面	必要により補液・ 充電
スタータロープ		1ヶ月毎	摩耗、破損	交換※
スパークプラグ	50時間毎	1ヶ月毎	汚損状態やギャ ップ	清掃・修正又は 交換
燃料系統	50時間毎	1ヶ月毎	ストレーナカッ プ内汚れや水の 有無 各パイプ及び結 合部の燃料にじ み	清掃 交換※
冷却水通路	100時間毎	1年毎	○ 水温・水量	必要により交換
ポンプ関係	50～100時間毎	1年毎	○ 性能確認	必要により交換
フラットバルブ 関係	50～100時間毎	1年毎	○ 真空洩れ	必要により交換
圧縮圧力	100時間毎	1年毎	○ 標準圧縮圧力	必要により交換
全 部 品	300時間	3年毎	○ オーバホール	必要により交換

注 1) 備考欄に○印を付した項目についての点検及び処置並に処置欄※印
については販売店に依頼して下さい。

2) 運転時間もしくは期間は先に到達した方で実施して下さい。

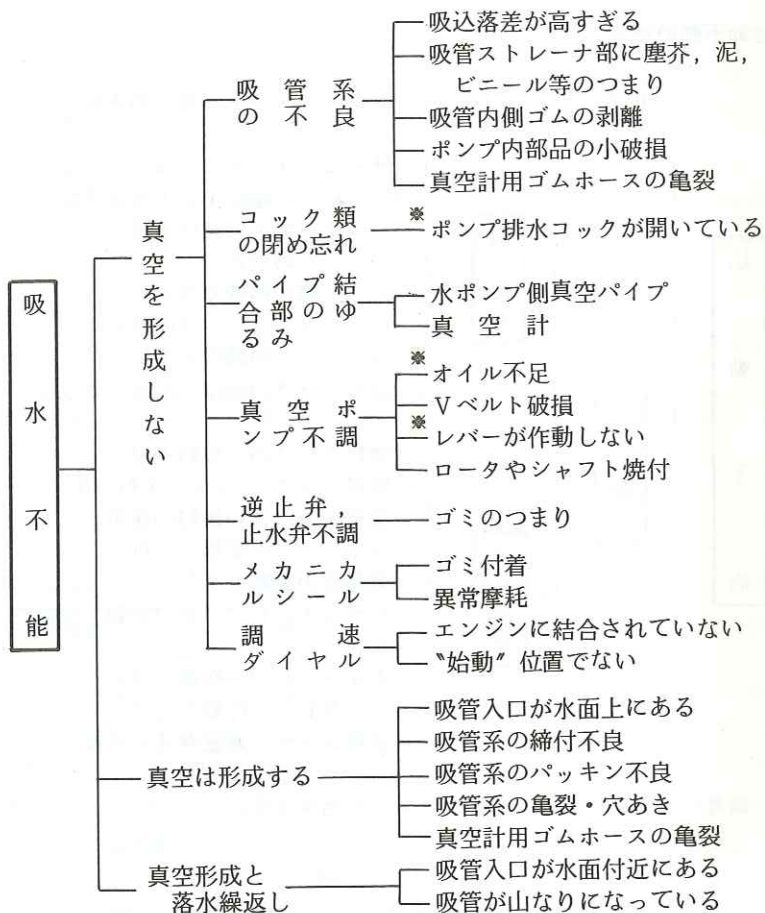
不調原因早見表

始動不能の場合



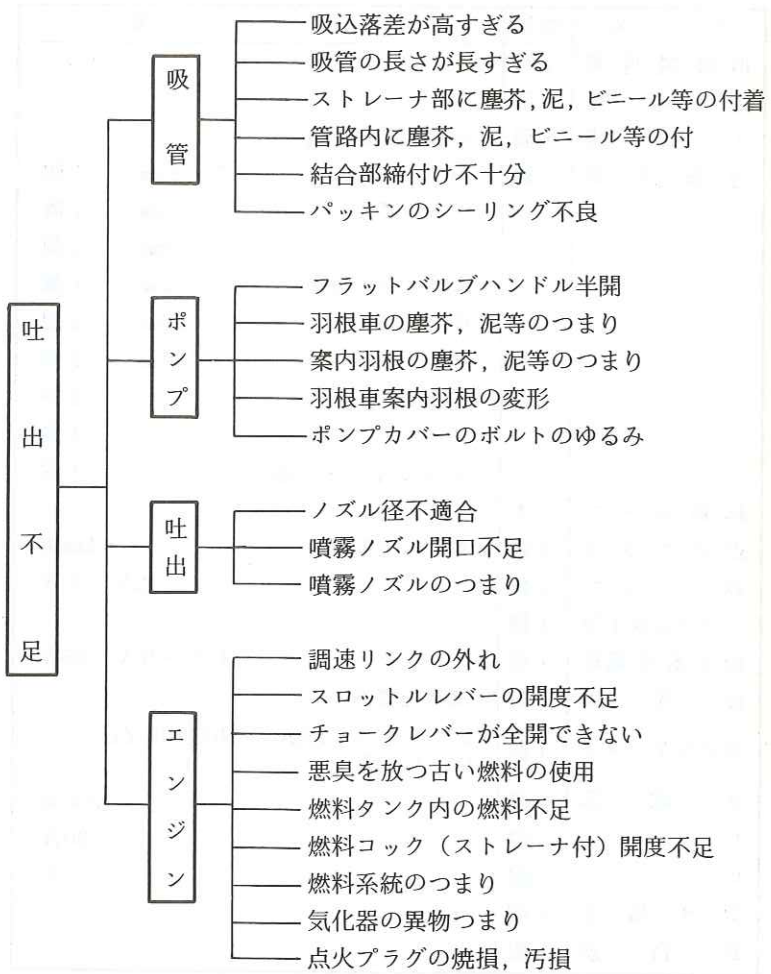
備考) *印はOKモニターでチェック出来ます。

吸水不能の場合



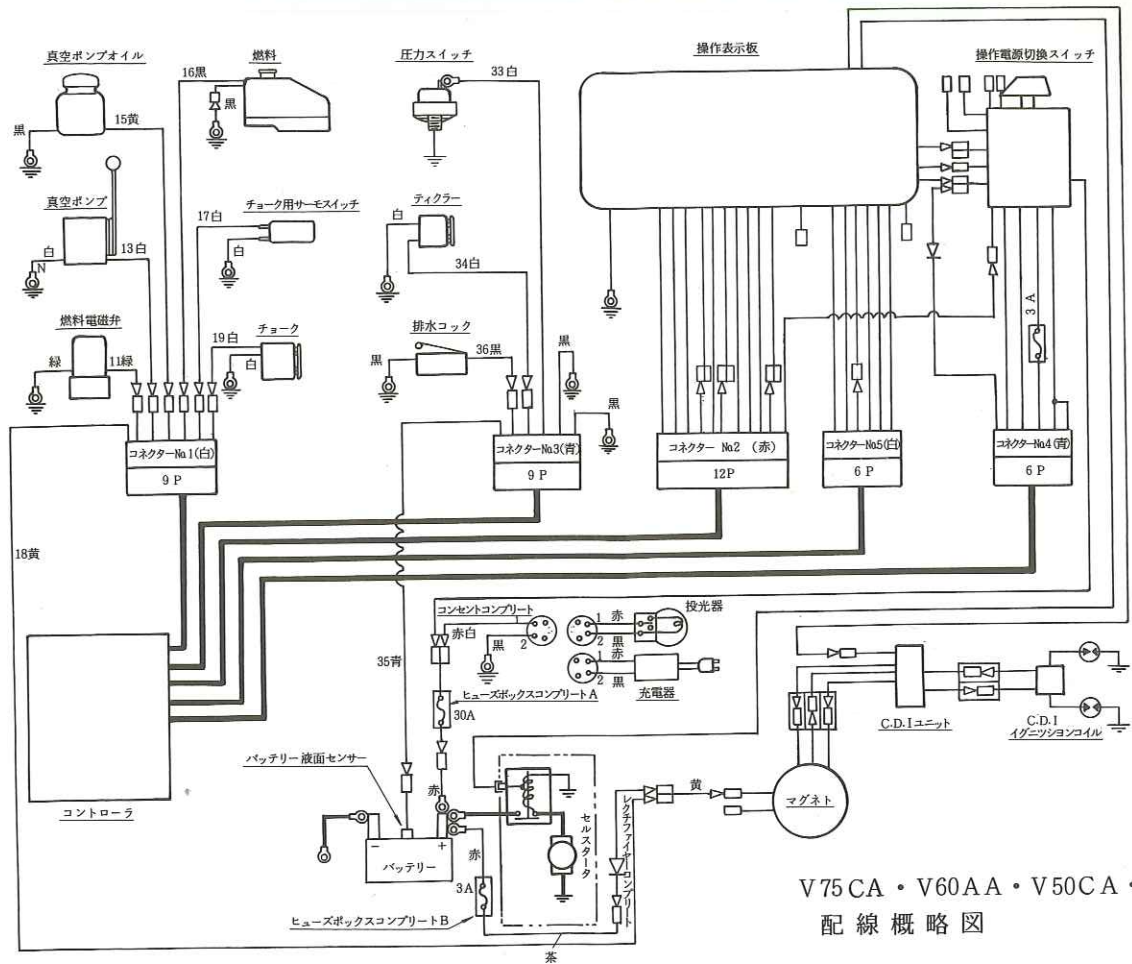
備考) *印はOKモニターでチェック出来る。

吐出不足の場合



附 属 品 内 容

品 名	数量	記 事
取扱説明書	1冊	
工具箱	1個	
工具袋	1個	分解工具を収納
分解工具	1組	両口スパナ
		7×8mm 1個
		10×13mm 1個
		17×19mm 1個
		片口スパナ(冠) 21mm 1個
		片口スパナ 26mm 1個
		プライヤー 150mm 1個
		⊕⊖ドライバー 1個
		ドライバーグリップ 1個
		⊕ドライバー3番 1個
起動ロープ	1本	
点火プラグ	2個	NGK B7HS 14mm用
表示ランプ	2個	12V 2W
ランプ交換工具	1個	
投光器用電球	1個	12V~16V 35W
投光器	1個	35W三脚共
揚水安全ノズル	1個	V38 BA, V60 AA, V50 CA用又は V75 CA用
充電器	1個	12V用
ヒューズ	3個	30A
ヒューズ	3個	3A
根本接手	1個	
混合器	1個	



V75CA・V60AA・V50CA・V38BA
配線概略図

営業品目

- ▷ 消防ポンプ
- ▷ 小型全自動消防車
- ▷ 軽四輪駆動消防車
- ▷ ジェット・揚水ポンプ
- ▷ 輸送用冷凍装置
- ▷ 防災システム
- ▷ 汎用エンジン
- ▷ 船外機
- ▷ 小型漁船用冷水機



トーハツ株式会社

- 本社 174 東京都板橋区小豆沢 3-4-9
電話 (03) 966-3111 (大代)
- 福岡営業所 810 福岡市中央区荒戸 1-1-2
電話 (092) 751-6761 (代)
- 大阪営業所 530 大阪市北区天満 1-8-27
電話 (06) 358-2971 (代)
- 高知出張所 780 高知市潮新町 2-13-25
電話 (0888) 33-1717 (代)
- 名古屋営業所 461 名古屋市東区古出来 2-5-10
電話 (052) 721-5646 (代)
- 豊橋出張所 440 豊橋市鍛冶町 80
電話 (0532) 54-5551 (代)
- 東京営業所 174 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
電話 (03) 966-3111 (大代)
- 仙台営業所 980 仙台市宮城野区榴岡 4-4-17
電話 (022) 291-5161 (代)
- 札幌営業所 060 札幌市中央区南 4 条西 8 丁目
電話 (011) 241-8301 (代)
- 東京工場 174 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
電話 (03) 966-3111 (大代)